

令和5年度

紫波町立紫波第三中学校 まなびフェスト

学校はよりよく生きる力を身につけるところです。
気づき考え実行する経験を重ね、将来みんなと一緒に幸せな社会を創る力を育みます。

紫波西学園 教育目標

自ら未来を切り拓いていく人間の育成

紫波第三中学校 教育目標

知 主体的に学ぶ生徒	徳 奉仕の心を持つ生徒	体 健康で活力のある生徒
授業がわかる・できる・楽しいと感じる生徒 家庭学習習慣を身につけた生徒	明るく元気な挨拶をする生徒 自ら進んで掃除をする生徒	毎日元気に活動する生徒 規則正しい生活を送る生徒

学校経営の重点

確かな学力の定着	豊かな人間性の育成	健やかな心身の育成
伝え合う授業：気づいたことを伝え合う 響き合う授業：課題解決のアイデアを考え試す 高め合う授業：学びの成果や課題を批評し合う	人の嫌がることをしない・させない 相手の立場に立って考え行動する 互いに支え合い 励まし合い 鍛え合う	基本的な生活習慣を身につける 運動に親しみ体力の向上に努める 目標に向かって挑戦と努力を続ける

紫波町西学園 小中一貫教育 目標

『ふるさとの未来創造的な学び』を実現する児童生徒の育成

紫波第三中学校 小中一貫教育の重点

カリキュラム・マネジメント		ふるさと学習		
安心感(セーフティ)のある集団づくり 主体的・対話的で深い学びの実現 ふるさと学習を核にした9年間の学びづくり 1人1台端末の効果的な活用 基本的な生活・学習・読書習慣の確立		大人との対話を重ねてふるさとを支える人々の生き方から学ぶ 1学年：地域で働く人や仕事の魅力を探る 2学年：働くことの目的や意義を探る 3学年：自分と社会の将来像を探る 探求学習の成果を授業参観日にプレゼンテーションする		
コミュニティスクール				
学校や地域の課題を みんなで共有する	学校や地域の課題を みんなで解決する	学校の学びをみんな で支える	教え学び共に育つ学 校をみんなでつくる	人・町・未来の夢をみ んなで育てる

子どもの成長を支える家庭教育

家庭は成長と生活と人生の基盤です。

家族に守られ愛され認められて自立の足場を固め、これからの人生を幸せに生きていく力を育みます。

挨拶	手伝い	時間	準備	自己決定
挨拶を交わしましょう。 それは社会生活の基本 です。	手伝いをさせましょう。そ れは将来の就労につなが ります。	時間を守らせましょう。そ れは自律心を育てることに つながります。	よい準備をさせましょう。 結果の善し悪しは準備で決 まります。	自己決定をさせましょう。 それは将来の自立につなが ります。

■ 主要行事

月	内容	要点
4	入学式	入学を祝い新入生を歓迎する
	学級開き・各種ガイダンス	三中ベーシックを基に学校生活の基本を学ぶ
	修学旅行	規律・自立・発見・絆
	前期生徒総会	学校生活を全員参加の自治活動でつくる
5	運動会	集団活動を楽しみ所属感・連帯感を高める
	春のあずまネカフェ	地域で活躍する大人との対話で生きがい・やりがいを学ぶ
	田植え（2学年）	体験を通して学ぶ地域の米づくり
6	地区中総体	努力・挑戦・振り返り
	1学期末テスト	目標設定・計画・実施・反省
7	校外学習・職場体験学習	大人との対話を重ねて人の生きがいや仕事のやりがいを学ぶ
	県中総体	努力・挑戦・振り返り
8	案山子づくり（小5・中2学園交流）	紫波西学園の田んぼに願いを込めた案山子を立てる
	防災体験学習（夏休み）	いざという時に備える力を身につける
	駅伝・全日本合唱コンクール	特設部の挑戦
9	地区新人大会	努力・挑戦・振り返り
	2学期中間テスト	目標設定・計画・実施・反省
	稲刈り（2学年）	実りに感謝し三中米を収穫する
10	三中祭	三中の文化を発信し保護者や地域の方々に喜んでもらう
	県新人大会	努力・挑戦・振り返り
	生徒会役員選挙	後期のリーダーを選ぶ
11	地区中文祭（3学年）	盛岡・紫波地区の中学校との文化交流
	紫波西学園公開授業研究会	主体的に学び、伝え合い 響き合い 高め合う授業
	授業参観日（秋のあずまねカフェ）	ふるさと学習プレゼンテーション（保護者と地域関係者を招く）
	2学期末テスト	目標設定・計画・実施・反省
12	姉妹都市交流（東京都日野市・第四中）	たきび祭（巽聖歌の顕彰）で三中米を販売（2年生生徒会役員）
1	合唱アンサンブルコンテスト	特設部の挑戦
2	新入生説明会	1・2年生による新入学生へのプレゼンテーション
	合格餅づくり（2学年）	3年生の合格を祈願
	3月期末テスト	目標設定・計画・実施・反省
3	3年生激励会	これまでの感謝とこれからの激励の思いを伝える
	復興を考える会	生きるとは・関わりとは・備えるとは
	卒業式	卒業生の門出を祝う

■ 指導方針:自分で決めたことを成し遂げさせ、他者に認められる経験をさせて、心の発達を保証する。

(1) 自己効力感（できると自分を信じられる力）を高める。

- ◇ 適切な目標を立てて、達成を支援する。……………【達成経験】
- ◇ 他の誰かの成功した姿から達成理由や必要な能力を学ぶ。……………【代理経験】
- ◇ どうすれば成功するか話し合ったり、うまくいったことを一緒に喜んだり、結果ばかりでなくその過程を誉めたりする。……………【言語的説得】
- ◇ ドキドキやワクワクといった気持ちの昂りを共有する。……………【高揚】
- ◇ 自分自身や他者の成功を想像する。……………【想像的体験】

(2) 自己肯定感（できてもできなくても、ありのままの自分を受け入れられる力）を育てる。

自己効力感が高まれば、物事に挑戦しようとする気持ちが育ち、失敗したときでも「今度は頑張ろう」、「失敗してもいいんだ。それでも自分には価値がある」と考えることができるようになる。